

平成30年度前期 学群教育改善計画

学群(学部)名	事業構想学群
学群(学部)長名	風見 正三

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。 ※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。		
①	課題	授業計画や事前・事後の学習方法の共有化を進める必要がある。
	理由	各科目で事前・事後の学習方法の改善を進めているが、その成果の共有化が必要。
②	課題	科目の特性を踏まえた外部講師の戦略的な導入の評価を行う必要がある。
	理由	授業計画や到達目標を踏まえた外部講師の導入シナリオが必要。
③	課題	実践的な知を習得するための効果的な学習支援システムの導入を検討する。
	理由	フィールドワークやMoodle等の効果的な学習支援・評価システムが必要。
1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。		
①	学類会議において、講義の事前・事後の学習の実施状及び改善方法について議論を行い、教員連絡会議で情報共有を行っていく。	
②	学類会議にて、科目特性を理解しながら、学類ごとの外部講師の導入戦略について検討を行い、学類毎の特性を踏まえたガイドライン等の構築を進めていく。	
③	フィールドワーク手法やMoodle等の効果的な学習支援・評価システムを授業管理メソッドに活用できるよう、学群のチューデントサービスセンターWGが主体となり、教員連絡会議の場を活用しながら、教職員の情報共有を進めていく。	

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。	
・講義の総合的な効果測定を意識した講義運営手法を整備していく。 ・事前・事後の学習効果を講義内で把握する手法を進めていく。 ・授業時間内で参加型・対話型の講義運営を進めていく。	
2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。	
・「実践」と「理論」の両立を促すための講義運営手法について、教員連絡会議にて情報共有を行うとともに、効果的な授業管理メソッドについて各学類の検討を進めていく。 ・外部講師やオムニバス形式の講義の運営について、学群や学類における情報交換を進め、学習達成度を向上させるための効果的な講義運営について検討を進めていく。	